

長崎県立大学シーポルト校 情報システム学部の皆さん



長崎県立大学シーポルト校情報システム学部の学生有志は、プログラミングに親しんでもらうとともに子どもたちの夏休みの居場所をつくろうと、毎年「長与町親子プログラミング教室」を長与町と開催。小学4~6年生と保護者にプログラミングの基礎を教えています。また、県内のイベントに不定期で参加することもあり、プログラミングの楽しさを伝えています。情報システム学科3年の後田さくらさんは「意欲のある子に教えることができ、刺激になる」と受け止めています。また、長与町やシーポルト校の魅力について、「緑に囲まれ、長与川も近くにあり、心のリフレッシュができる環境で学べています」と話します。

ところ 西彼杵郡長与町まなび野1-1-1

ミカン香る生ソーセージ



ながさき雪の浦 手作りハム

抗生素質の使用を極力抑えて育てられた県産の「SPF豚」のみを使い、無添加・低添加のハムやソーセージなどを販売。長与町産の無農薬ミカンの皮を練り込んだ生ソーセージは、ほのかに香るミカンの風味が人気です。2025年IFFA日本食肉加工コンテストのソーセージ部門で優勝しました。

ところ 西彼杵郡長与町高田郷1677-6

営業 11時~18時 ※水曜定休(不定休あり)

095-887-2568



代表 岩永龍介さん

地域のニューストピックを紹介

「新図書館等複合施設」が2027年4月に開館予定

長与町図書館と町健康センターが併設する新図書館等複合施設「ホンテラッセ長与」が、2027年4月に開館予定です。名称は、「本」とドイツ語で小高い丘を意味する「テラッセ」、「照らせ」を掛け合わせた造語で、屋根には太陽光パネルを設置し、建物全体で消費エネルギー収支をゼロにする『ZEB』の認証を受ける予定です。

もたちの思い出になればと始めた「ながよみかん祭り」は、現在も続くイベントに成長。「子どもだけでなく、年配の方まで来てくれるようになりました」と笑います。

活動の中でもう一つ大事にしていられるのが地域住民の「居場所づくり」。親子料理教室を定期的に開くほか、2025年11月には食事を通じて交流する「みんなの食堂サン」を初めて開催しました。参加条件は定めず誰でも自由に参加でき、地域交流の場だけで、親でも先生でも友達でもない所で、親が話を聞いてくれる、子どもたちにとってそんな居場所になつてほ

しい」と願います。
仕事の傍ら、毎月のようにイベントを開催する山辺さん。その活動の原動力は大好きなふるさとへの思いです。「地域コミュニティーや町の事業所を巻き込みながら、長与町全体で盛り上がりしていくきっかけを作り続けたい」と話します。現在は町内のフリースペースで、女性が一人でもお酒を楽しめるバーの運営も開始。「地域が良くなるということは、住んでいる人が楽しく豊かに生活し、喜びを感じること」。町民全員が輝ける町を目指し、地域を巻き込んで活動の場を広げたいと意気込んでいます。

大好きな長与町 住民みんなで盛り上げたい



「生まれ育った長与町を盛り上げたい」。生まれも育ちも長与町という「ながよみかん娘」を結成し、町の活性化のため奮闘しています。その活動の原動力は、大好きなふるさとへの思いです。

「ながよみかん娘」の「総監督」として企画運営に携わる山辺さんは、「長与町は海、山、川など自然が豊かで、長崎市にも近く住みやすい。のんびりとした豊かな時間が過ごせる町」とふるさとの魅力を語ります。

そんな魅力を発信しようと、動画投稿サイトに町内の店舗や町の特産品を使ったレシピを紹介する動画を投稿していたところ、同じような「長与大好きっ子」が集結。2021年9月にながよみかん娘を結成し、地域活性化に向けた活動を続けてきました。「ながよみかん娘」の活動は、町内でのイベント開催や子どもから大人まで自由に過ごせる「居場所」の運営、清掃活動など多岐にわたります。結成当初は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、多くのイベントが中止や延期を余儀なくされた時期でした。日常生活が制限されている子ども

中尾城公園



「ふれあいと希望の森」として整備され、1996年に完成。公園のシンボルである赤い橋「エアロブリッジ」から見える景色は絶景。サクラの時期は花見客でにぎわいます。遊具のリニューアル工事中で、2026年秋ごろに完成予定です。

吉無田獅子舞



江戸時代末期、吉無田地区に伝わったとされており、五穀豊穣などを祈願。「暴れ獅子」とも言われており、ダイナミックな動きが見どころです。摩利支尊天王神社の祭礼「吉無田くんち」などで奉納されています。